

『をちこち』第24号
特集「変わりゆくインドネシア」発売！

『をちこち（遠近）』は国際交流基金（ジャパンファウンデーション）が発行する、国内唯一の国際交流専門誌です。このたび第24号を8月1日に発売開始しました。

今年2008年は、日本とインドネシアの国交樹立50周年を記念した「日本インドネシア友好年」。スハルト時代が終わり、民主化の息吹とともに、21世紀のインドネシア社会にはさまざまな変化が訪れています。社会現象、文化、宗教などを切り口に、変貌するインドネシアの今をお伝えします。

<<特集ページの主な記事>>

巻頭鼎談：グローバル化と宗教回帰の間で急速に変貌するインドネシア

倉沢愛子（慶應義塾大学教授）×村井吉敬（早稲田大学教授）×見市建（岩手県立大学講師）

「のんびり大国」に開化の大波がやってきた

小牧利寿（日本経済新聞編集委員）

日本で働くインドネシア人と共に生きるために

奥島美夏（神田外国語大学）

特別インタビュー：デヴィ・スカルノ夫人

スカルノは国父として国民に民族の誇りを与えた
聞き手・千野境子（産経新聞特別記者）

<<その他の記事>>

北京五輪で生まれ変わる街と市民の意識

泉京鹿（翻訳家）

日常を感じ取った日本訪問の2週間

J・M・クツェー（作家、文芸評論家）



本誌の購読をご希望の方は、最寄りの書店または山川出版社（03-3293-8131）にお申し込みください（定価525円・税込）。

貴紙・誌にてお取りあげくださいますようお願いいたします。

お問合せ：情報センター 西納（にしろう）/大野、電話：03-5369-6075